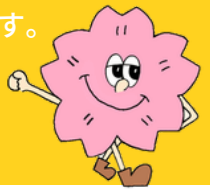


情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。

子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿や、
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



2年生 生活

授業の様子

2学期のはじめに行った町探検を振り返り、消防署・KADOMADO・モノレールのグループに分かれて活動をしていました。町探検で質問したことをもう一度思い出しながら、グループに分かれて町で見つけたことをワークシートに整理しました。この生活の学習は、国語「町で見つけたことを話そう」の学習につながっていくそうです。



みんなで交流しながら学びを深める

同じ場所で質問をした友だちと、「こんな話をしていたよね」「こんなこと聞いて、こう思ったよ」と伝え合いながら、聞いたことや思ったことを整理していきました。自分では気付かなかったことも、友だちの話を聞くことで思い出したり、新しく気付いたりする姿が見られました。



すてきな姿 ✨

「これ書いた？」「ここはこうじゃない？」など、友だち同士で声をかけ合いながら、グループで協力して進めていました。一人で考えるだけでなく、みんなで思い出したことを出し合うことで、町探検で気づいたことが少しずつ増えていきました。

